

教育目標：「知性を磨き 心を見つめ チャレンジする生徒」



『挨拶を交わし 場を清め 時を守る』

校長 下地 秀隆

令和7年度『探求学習(2学年)講師6名参加』

◆「(株) roku you」と協働して取り組む2学年の「探求学習」では、6名のメンターがそれぞれの経験をもとに講話してくれました◆180名を6班に編制し、それぞれのテーマに応じて講話していただいた◆講師紹介：津波古政史（キッズヒーローアカデミー取締役）萩原愛（名桜大学学生、wakuwaku 代表個人事業主）桑江優稀乃（医師、三線奏者）屋良恵美子（キャリアコンサルタント）神谷則子（地球となかよし代表理事）宮城美希（琉球大学学生、株式会社 Earth High School:執行役員）



◆私は、今日の講話を聞いて、相手が興味を持つポイントやプレゼンをするにあたって考えるところを知ることができました◆まず、屋良恵美子さんのお話では、相手に共感してもらえるように伝える人を想像することで、ターゲットを細かく



設定し、相手によってキャッチコピーを変えるといったことが大切だと学びました◆これからのプレゼンのスライドを作るときに、相手の立場になって考えたいです◆2人目の神谷則子さんは、「人は感情の生き物である」という言葉をもとに、ただの情報でなく、人の感情を動かすような情報を届けることを大事にしています◆そこで私は、人がどんな時に心が動くのか、日頃から意識して自分がターゲットにしたい人たちに、興味を持ってもらえるようにしたいです◆ 2組：勝連いろは

◆私は今日の講話を聞いて、人は感情の生き物であるという言葉がとても心に残りました◆人に「共感」を得るには感情のストーリーを伝えることや自分らしさを出すこと、自分の心が動いた瞬間を大事にすると良いと分かりました◆これから人に何かを伝える時には、相手を具体的に想像して、相手に自分ごとと思わせられるような話し方をできるようにしていきたいです◆

4組：喜屋武愛菜

